

高知県中村市古津賀方言の副助詞

橋尾直和

I. はじめに

1. 調査対象地：中村市は、幡多地域の中心に位置し、経済文化の中核都市としての役割を果たしている。また、清流四万十川河口の町としても有名である。産業は、農業、林業、漁業が盛んで、特に四万十川の恵みが多い。一条教房が整備した中村の町は、土佐の小京都と称されている。調査地点の古津賀町は、中村の町の中心から南東約2.5kmのところに位置する。
2. 調査年月日： 1998年3月22日 午後1時～3時30分
3. 話者： 前田重子氏 大正8年5月20日生(76歳) 元教員
4. 調査者・調査場所： 橋尾直和、新ロイヤルホテル四万十川社長室
5. 調査方法・調査時の状況： 面接調査、敷地町出身の武田光生氏(大正11年生)に同席して頂いた。
6. その他：① 当該部分にアンダーラインを記す。アクセントはカギで記す。
② 注記すべき音声を以下に掲げる。

チ[tʰi], ヒ[ʰi] (語中), トっ[tʰu], ゼ[ze], ッガ[ʰga], ッグ[ʰgu],
ッゲ[ʰge], ッゴ[ʰgo], ッダ[ʰda], ッヂ[ʰdʒi], ッヅ[ʰdʒu], ッデ[ʰde],
ッド[ʰdo], ッチャ[ʰdʒa]。なお、当方言の無声子音に挟まれた狭母音はすべて無声化している。

II. 調査結果

(1) 添加・例示・提題などをあらわすもの

A 添加

1. 雨だけでなく風さえ吹いてきた。 ○「ア」メバッカリ「ッチャ」ー ナ「シ」ニ 「カゼマ」ッデ 「フ」イテキタ。
2. 今年は豊作で、米ばかりか麦もよくとれた。 ○「コトシャー ホーサク」ッデ コメバッカリ「ッチャ」ー ナ「シ」ニ 「ム」ッギ「マ」ッデ 「ヨ」ー 「ト」レタ。

B 予想外の事実

3. 小学生でさえ簡単にワープロを使っている。 ○「ショー」ガ「クセー」ッデ「サ」エ ワープロオ トッカ「イ」ヨル。
4. (宝くじが)当たると思っていなかっただけに嬉しい。 ○ア「タ」ルト オ「モ」ー「ョララ」ッタ「ッダ」「ケ」ニ ウレ「シ」ー。

C 条件

5. 暇さえあれば釣りに行っている。 ○ヒマサエ「ア」リヤー トッリニ「イキ」ヨル。

D 例示

6. まあお茶でも飲んでください。 ①「マ」ー オチャ「ッデ」モ 「ノ」ンデ「ヤ」/②「マ」ー

オチャ「ッデ」モ 「ノ」ンデ「ク」ッダ「サ」イ。(丁寧)

7. みやげにこのまんじゅうなどどうかな。 ○ミ「ヤ」ゲニ「ワ」 コノマンジュ「ー」ラー
「ッ」デ「ー」ッチャロカ。
8. 思わず跳び上がるほど嬉しかった。 ○オ「モ」ワズ ト「ピア」ッガル「バ」ー ウレ
シ「カ」ッタチ「ヤ」。
9. まさかあなたにまで話が行くとは思わなかった。 ○マ「サ」カ アン「タ」ニマッデ
ハ「ナ」シ「ガ」 イク「ト」ワ オモ「ワ」ラッタ。
10. ながるやら蹴るやらの乱暴をはたらいた。 ○ナッグル「ヤ」ラ ケル「ヤ」ラ 「ランボ
ー」シタ。
11. 私なりに相談してくれれば良かったのに。 ○ワタシ「ニ」ッデモ 「ソー」ダンシテクレ
リ「ャ」ー ヨ「カ」ッタニ。
12. 野菜なんていくらもできる。 ○ヤサイ「ラ」ー ナンボ「ッ」デモ 「ッ」デ「キ」ル。
一対の語の例示

13. 醤油だって味噌だって作っていたんだ。 ○ショウユ「ッチ」ヤチ 「ミ」ソ「ッチ」ヤチ
ト「ク」リ「」 ヨッタ「ゼ」。

択一

14. 私なり弟なりがお手伝いに行きます。 {①ワタ「シ」カ オト「ト」カ②ワタシ
「ッデ」モ オト「ト」ッデ「モ」} オ「テ」ト「ッ」ダイニ イ「カ」ー「イ」。

例外でない

15. 村長とて、そうするより仕方がなかったんだらう。 ○「ソ」ン「チョー」ッ「チャ」チ
「ソ」ー「スル」ヨ「リ」 シカタナ「カ」ッ「ト」ロー。

列举

16. 春らしくなって、梅も桜も一度に咲いた。 ○「ハ」ル「ラ」シュ「ー」ナッテ 「ウメ」モ
「サクラ」モ イ「ッ」ショ「ニ」 サ「イ」タ。

同類の暗示

17. テレビもそろそろ買い替えよう。 ○「テ」レ「ビ」モ ソ「ロ」ソロ カ「イ」カエロー。
やわらげ

18. まあお茶でも飲んで下さい。 ①「マ」ー オチャ「ッデ」モ 「ノ」ンデ「ヤ」。
／②「マ」ー オチャ「ッデ」モ 「ノ」ンデ「ク」レ「ヤ」。
／③「マ」ー オチャ「ッデ」モ 「ノ」ンデ「ク」ッダ
「サ」イ。(丁寧)

E 包括

19. 盆には子や孫などが帰ってくる。 ○「ボ」ン「ニャー」 コ「ヤ」ラ マ「ッゴ」ラー 「モン
テ」クル。

F 提題

20. ゲートボールだってできるよ。 ○ッゲートボール「ッ「チャ」チ 「ッデ」キル「ゼ」。

話題にあげる

21. 何だい、いいことって。 ○「ナ」ニ「ー エ」ーコトユーテ。

極端なものの提示

22. そんなこと子供にでもできるよ。 ソンナコ「タ」ー コッドモ {①「ッチャ」チ②「ヤ」チ} ッデ「キ」ラー。

23. 食べることくらいは何とかしたい。 ○タ「ベ」ルコト「ッグ」ライ 「ナ」ントカシタ「イ。

24. 名前すらろくに覚えていない。 ○ナマエ「サ」エ 「ロ」クニ オ「ボ」エチョ「ラ」ン。

25. 弁当代に千円もかかった。 ○「ベ」ントー「ッダイニ」 セ「ン」エンモ イッタ。

軽いものをあげる

26. これさえあればもう大丈夫だ。 ○「コ」レ「サ」エ ア「リ」ャー 「モ」ー ッダイジョー
ブヨ。

(2) 分量・程度・基準などをあらわすもの

G 分量・程度

27. 旅行で三日ほど家をあげた。 ○「リ」ョコー「ッ」デ ミツカバ「ー」 ウ「チ」オ アケタ。

28. 茶碗に半分くらいください。 ①「チャ」ワンニ「ン」 ハン「ブン」バー ク「レ」ヤノ②「チャ」
ワンニ「ン」 ハン「ブン」バー 「ク」ッダ「サ」イ。(丁寧)

29. 子供にでもわかるくらいのやさしい本だ。 ○「コ」ッドモニ「ッチャ」チ ワ「カ」ルバ「ー」
ナ 「シ」ヨイ ホ「ン」チャ。

30. 一週間ばかり留守にするので頼むよ。 ○イッ「シュ」ーカンバ「ー」 ル「ス」ニ スルケ
ン タ「ノ」ム「ゼ」。

H 基準

31. 今年の寒さは去年ほどではない。 ○「コ」トシノ「ヒ」ヤ「サ」ワ キョ「ネ」ンホ「ッ」ド
「ッチャ」ー 「ナ」イ。

I 理由

32. ちょっと油断したばかりにとんでもないことになった。 ○「チ」ット ユ「ッ」ダンシタ
バツカ「リ」ニ 「オ」ー「ッ」ゴ「ト」ナコトニ ナッタ。

J 「それにふさわしく」

33. 苦労しただけあって人間ができています。 ○「ク」ローシタ「ッダケ」 「ア」ッテ 「ニン」ゲ
ンガ「ッデ「キ」」 Chol。

形式名詞的用法

34. 毎日孫の守りやなんかで忙しい。 ○「マ」イニチ マ「ッゴ」ノ 「モ」リヤ 「ナ」ンヤ
「ラ」ッデ イソ「ガ」シー。

「それこそ」

35. それこそバケツをひっくりかえしたような大雨だ。 ○ソレ「コ」ソ バ「ケ」ト「ッ」オ

ヒッ「クリ」カエシタヨーナ 「オー」アメッチャ。

「～ばかりか」

36. 父ばかりか母もスポーツ好きだ。 ○「チ」チバカリカ 「ハ」ハ「マ」ッデ ス「ポートル」ズ「キ」ッチャ。

K 今にも行われる

37. もう食べるばかりにしてある。 「モ」ー タ「ベル」 {①バカリリニ②バッカ「リ」ニ} 「ナ」ッ「チョル」。

動作の完了直後

38. 今、仕事から帰ったばかりだ。 「イ」マ シ「ゴト」カ「ラ」 モ「ン」タ {①バカリリッ「チャ」②バッカ「リ」ッ「チャ」}。

基準

39. 駅までもうちちょっとだ。 ○「エ」キマッデ 「モ」ー「チー」ト「ッ」チャ。

L 等量の反復

40. 一人ずつ呼んで話をした。 ○ヒ「ト」リ「ツ」ト「ッ」 ヨンデ 「ハ」ナシオ 「シ」タ。

M 等量の配分

41. 一人に二個ずつみかんをやる。 ○ヒ「ト」リニ 「フ」タト「ン」ト「ッ」 ミカ「ン」オヤル。

(3) 限定・限界などをあらわすもの

N 限定

42. 酒はたまにしか飲まない。 ○サケワ タマニ「シ」カ 「ノ」マン。

43. 今朝は寝坊をしてパンだけ食べて来た。 ○「ケ」サワ 「ネ」ポーシテ 「バ」ンダ「ケ」タ「ベテ」キタ。

44. そんなに勉強ばかりしていると体に毒だよ。 ○ソレ「バー」ベン「キョー」バッカリ「シ」ヨッタラ 「カラ」ダニ「ッ」ド「ク」ゼ「ー」。

45. うちの田が残っているきりで、よそは全部終わった。 ○ウ「チ」ノタバ「ー」 ノ「コ」ッ「チョル」ダケ「ッ」デ「ヒ」トノン「ク」ワ ミン「ナ」ス「ン」ダ。

O 強調

46. もうこれだけしかないよ。 ○「モ」ー コレバ「ー」シカ ナイ「ゼ」。

47. 今年こそいい年にしたい。 ○コトシ「コ」ソ 「エ」ートシニ シタイ。

P 限界

48. これだけ言っても分からないのか！ ○「コ」レバ「ー」ユー「タ」チ ワカ「ラ」ンカ。

49. 2千円くらいまでなら何とかなる。 ○ニセンエン「グ」ライバ「ー」 ッ「チャ」ッ「タ」ラ「ナ」ントカ「ナ」ル。

(4) 陳述的なもの

Q 「～ば～だけ」

50. 肥料をやればやるだけよく育つ。 ①「ヒリョー ヤリャー 「ヤル」バー ヨー
フ「トル。／②「ヒリョー ヤリャー 「ヤル」バー ヨーッデ「キル。

「仮定形・ば・こそ」

51. 心配すればこそ言うんだ。 ○「シンパイスル」ケン「コ」ソ 「ユー」ッガ「ゼ。

「こそ・仮定形」

52. 彼は文句こそ言え、人の言うことなど聞かない。 ○「ア」ノヒター モ「ン」ク「コ」ソ
「ユー」ケン「ド」 「ヒ」トノユーコト「ラ」ー キカン。

53. 「～でこそあれ」という言い方はありますか。 ○～ッチャケン「コ」ソと言う。

「未然形・ば・こそ」

54. 押しても引いても動かばこそ。 ○オ「ヒ」タチ ヒ「ー」タチ ウ「ッ」ゴキヤー「コ」ソ。

「～こそ。」

55. 失礼なことを言わないでこそ。 NR。

「～こそ～が」

56. 今でこそ家から出ないが、昔はよく出歩いていた。 ○「イ」マッデ「コ」ソ ウ「チ」カラ
「ッ」デ「ン」ガ「ム」カ「シャ」ー 「ヨ」ー ッデ「アル」イ「チ」ョッ「タ。

「～ば～ほど」

57. 働けば働くほどもうかる。 ○ハタラ「キヤー」 ハタラク「バー」 モー「カル。

R 打ち消しとの呼応

58. 村長に聞くまでもないことだ。 ○「ソ」ン「チョー」ニ キクマ「ッ」デ「モ」 「ナ」イ「コト」
「ッ」チャ。

否定との呼応（それさえもない）

59. 朝から忙しくて昼飯も食えない。 ○「ア」サカラ イ「ソ」ッガ「シュー」テ 「ヒ」ル「メシ」
「モ」 ク「エン。

否定的取り上げ

60. こんなものなどいくらでもあるよ。 ○「コ」ン「ナ」モ「ノ」ナー「ナ」ラ 「ナ」ン「ボ」ッデ「モ」
「ア」ラー。

全面否定

61. 誰だってそんなことを言われたら怒るよ。 ○「ッ」ダ「レ」「ッ」チャ「チ」 「ソ」ン「ナ」コ「ト」
「イ」ワ「レ」タ「ラ」 オ「ッ」ゴ「ラー」ヨ。

S 次の動作が不可能

62. 10年前に故郷を離れたきり、一度も帰っていない。 ○「ジュー」ネン「マ」エ「ニ」
ウ「チ」オ ハ「ナ」レ「タ」「キリ」 イ「ッ」ペ「ン」モ モ「ン」テ キ「チョ」ラ「ン。

(5) モダリティー的なもの

T 不確かな気持ち

63. いつのまにやら眠ってしまった。 ○「イ」トッノマニ「ヤ」ラ 「ネ」ブッテシ「モ」ータ。
64. 何のことか分からない。 ○「ナ」ンノコト「ヤ」ラ ワカ「ラ」ン。

推定

65. 後で遊びに行くかもしれない。 ○「ア」トッデ アソビニイク「カ」モ シレン。
どちらか分からない
66. 来るのやら来ないのやらよく分からない。 ○「ク」ルヤラ 「コ」ンヤラ 「ヨ」ーワカ
「ラ」ン
はっきり言わない
67. どこやらへ引っ越したそうだ。 ○ッド「コ」ヤラエ ヒッ「コ」シタ「ソ」ーナ。

U 非難

68. お父さんたら今日も遅いのね。 NR。
69. お父さんてば、子供のようなことを言って。 ○オ「ト」ーサンノク「セ」ニ コッドモノ
ヨー「ナ」 コ「ト」オ ユーテ。

(6) 累加表現

「さえも」

70. おじいさんさえもお祭の日を覚えてくれなかった。 オ「ッ」チーサン {①「ッ」チャ「チ」②
「ッ」チャ「ニ」} 「オ」マトッリノ「ヒ」オ オシエテクレ「ラ」ック。

「すらも」

71. お祭の日すらも思い出せなかった。 ○「オ」マトッリノヒス「ラ」モ 「オ」モイ「ダ」セ「ラ」ック。
タ。

「までも」

72. 役場までも歩けなかった。 ○「ヤ」クバ「マ」ッ「デ」モ 「アル」ケ「ラ」ック。

「ばかりか」

73. 味噌ばかりか醤油もない。 ○「ミ」ソバ「カ」リ「カ」 「ショ」ーユ「モ」 ナ「イ」。

「までもが」

74. 町長までもが反対した。 ○「チョ」ー「チョ」ー「マ」ッ「デ」モ「ッ」ガ オマトッリニ ハンタイ
「シ」タ。

Ⅲ. 総括(まとめ)

本方言の副助詞のうち、複数の意味・用法を持つもので、特筆すべきもののみまとめると、以下のとおりである。

- (1) 「ッチャチ」は、〈例示〉の「だって」(一対の語の例示)、「とて」(例外でない)、〈提題〉の「だって」、「でも」(極端なものの提示)、〈全面否定〉の「だって」、累

加表現の「さえも」に対応する。

(2)「パー」は、〈例示〉の「ほど」、〈分量・程度〉の「ほど」「くらい」「ばかり」、〈限界〉の「だけ」「まで」、〈～ば～だけ〉の「だけ」、〈～ば～ほど〉の「ほど」に対応する。

(3)「マッデ」は、〈添加〉の「さえ」「も」、〈例示〉の「まで」、〈基準〉の「まで」、〈打ち消しとの呼応〉の「まで」に対応する。

(4)「ラー」は、〈例示〉の「など」「なんて」、〈包括〉の「など」に対応する。

(はしお なおかず 高知女子大学文化学部)